

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年10月6日

| | | | |
|-------|------------------------------------|-------|---------------------------------|
| 事業所番号 | 2770108922 | 評価機関名 | 特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター |
| 法人名 | 株式会社 アスキーネット | 所在地 | 大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号 |
| 事業所名 | 『あんしん日置荘』の里 | 評価調査日 | 平成 21 年 10 月 2 日 |
| 所在地 | 堺市東区日置荘原寺町402番地1 電話072-288-5123 | 評価確定日 | 平成 21 年 10 月 7 日 |

【情報提供票より】 (平成21年9月12日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|----------|-------|
| 開設年月日 | 平成18年3月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数 | 18 人 |
| 職員数 | 23人常勤 4人 非常勤 | 19人 常勤換算 | 15.4人 |

(2) 建物概要

| | |
|-------|--------------------------|
| 建物の構造 | 単独 鉄骨造 2階建ての(1階～2階部分) |
|-------|--------------------------|

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|----------------------|-----------------------|--------|---------|
| 家賃 (1月) | 55,000円 | その他の経費 | 30,000円 |
| 敷金 | 無 () | | |
| 保証金の有無 (入居一時金を含む) | 有 300,000円 償却 有 3年 | | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 |
| | 夕食 | 円 | おやつ |
| | または1日当たり 1500円 | | |

(4) 利用者の概要 (9月12日現在)

| | | | | | |
|-------|-----|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 17名 | 男性 | 7名 | 女性 | 10名 |
| 要介護1 | 5名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 8名 | 要介護4 | 2名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 平均 | 77才 | 最低 | 62才 | 最高 | 92才 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | ますたにクリニック |
|---------|-----------|

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

設立後3年を経過しているが、運営者は「利用者が持てる能力に応じて自立した生活を営むことができるよう」に介護するという基本方針を掲げ、着実に成果を挙げている。又、ベテランの管理者は、職員のスキム・アップに積極的で、毎月の定例会議では、日常の実態に即した事例研修を実施している。そして利用者に対する親身の介護で、アンケートの集計でも、ご家族の満足と感謝の意が表れている。

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4) |
| | 運営推進会議は定期的開催され、包括センターや、自治会等からの情報交換と、ホーム側からの経過報告等が行われて、徐々に地域に溶け込み始めている。課題になっていた利用者一人ひとりの記録も、チームワークによりシート化を図り、順次、改善されている |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) |
| | 管理者は昨年の第1回の外部評価結果を玄関に掲示すると共に、定例の会議ごとに職員と介護向上について検討し、研修を重ねて来た。そして、運営理念の実践目標として「寄り添う」「共感」「支持」を室内に掲げ、職員と実践に務めている。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6) |
| | 運営推進会議は定期的開催され、ホーム側から包み隠さず現状を報告し、高齢者介護の現状を理解して頂けやすいよう進めて来ているが、今後も地域に溶け込むため、尚一層の交流を進めるよう努力している |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8) |
| | 毎月の発送郵便にはホーム便りを同封している、又、来訪された場合は、近況報告を詳細に説明している。そのせいか、ご家族アンケートの集計結果でも、ご満足と感謝の回答を頂いている |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) |
| | 運営推進会議の委員さんの日常的なご配慮で、地元の会合、各種の情報交換や、ご紹介等を受けている。加えて、事業所の提供者も熱心に地元の方々とのお付き合いに配慮していただき、お蔭様で徐々に交流の輪が広がりつつある |

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|--|--------|--|
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 認知症の要介護状態にある高齢者に対して、適正な共同生活介護を提供することを理念としている | | |
| 2 | 2 | ○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は、理念の実践に向けた目標を定めて、実践に取り組んでいる | | |
| 2 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている | 施設は住宅地域の端にあり、管理者は、日常的なお付き合いに配慮しながら、少しずつ地域の方々との交流が出来つつある | | |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者、職員は昨年の外部評価の各項目ごとに、評価を活かした日常活動を実施している | | |
| 5 | 8 | ○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている | 運営推進会議では、ホーム運営の現状報告を出来るだけ詳しく説明をし、認知症への理解を深めて頂けるように進めている | ○ | 2ヶ月ごとに運営推進会議が開催されているが、会議議事録に出席者の役職、氏名の記録が記載されていません。議事録様式を定めて、洩れないよう、記載してください |
| 6 | 9 | ○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 管理者は市役所担当課へは、機会がある度に訪問をして、情報交流を進めている | | |
| 4 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々に合わせた報告をしている | 来訪された、ご家族には出来るだけ詳細に近況報告をしている。その上、定期的な文書には簡単に、添え書きすることを目指している | | |
| 8 | 15 | ○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族来訪時には、職員は対話を積極的にして、ご意見等を伺い、介護に反映させている | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|----|--|--------|-----------------------------------|
| | 9 | 18 | <p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | | |

5 人材の育成と支援

| | | | | | |
|--|----|----|---|---|---|
| | 10 | 19 | <p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | ○ | 日常活動の管理を管理者一人ではなく、分掌化して、少しずつ職員が分担できるよう検討して欲しい |
| | 11 | 20 | <p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p> | | |

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

| | | | | | |
|--|----|----|---|--|--|
| | 12 | 26 | <p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | | 職員に利用者のそれぞれの担当を決め、記録の洩れのないように進め、それを基に計画作成、変更を活している |
|--|----|----|---|--|--|

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|--|
| | 13 | 27 | <p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | | 職員は利用者の立場になって考えるように指導されていて、それに沿った介護が行われている |
|--|----|----|--|--|--|

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

| | | | | | |
|--|----|----|--|--|-----------------------------------|
| | 14 | 33 | <p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | | 利用者の日頃の状態をしっかりと把握しながら、見守りが進められている |
|--|----|----|--|--|-----------------------------------|

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

| | | | | | |
|--|----|----|---|--|--|
| | 15 | 36 | <p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | | 日頃の見守り結果の記録を参考に本人、ご家族、関係者と話し合い新たな計画を作成している |
|--|----|----|---|--|--|

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---|---|--------|-----------------------------------|
| 16 | 37 | ○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 職員は、利用者の個人別の介護、観察記録を基に、定期的以外にも変化に対応した計画を立てている。そして、本人、ご家族、関係者との話し合いで対応している | | |

3 多機能性を活かした柔軟な支援

| | | | | | |
|----|----|---|----------------------------------|--|--|
| 17 | 39 | ○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人、ご家族の要望に沿い、事業所で出来る範囲内で、支援をしている | | |
|----|----|---|----------------------------------|--|--|

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

| | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|
| 18 | 43 | ○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している | 利用者の変化については、事前に兆候を把握し、ご家族、本人、医師とも話し合いをしながら、対応している | | |
| 19 | 47 | ○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | かかりつけ医師、ご家族との連携を取り合っ、情報の交流に努めている | | |

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

| | | | | | |
|----|----|---|--|--|--|
| 20 | 50 | ○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない | 管理資料類の保管管理には、常に注意を払っており、職員への指導を徹底している | | |
| 21 | 52 | ○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員サイドの都合や定めを優先するのではなく、利用者一人ひとりのペース大切にしよう、日頃から職員を指導している | | |

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

| | | | | | |
|----|----|---|---------------------|--|--|
| 22 | 54 | ○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の好みに合わせた対応を進めている | | |
|----|----|---|---------------------|--|--|

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○ 印 | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|----|---|----------------------------|-----------------------------------|
| | 23 | 57 | <input type="checkbox"/> 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 出来るだけ利用者の希望に応じられるよう、配慮している | |

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

| | | | | | |
|--|----|----|---|----------------------------------|--|
| | 24 | 59 | <input type="checkbox"/> 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | その人らしい生活を送って頂けるよう、職員は工夫や努力を続けている | |
| | 25 | 61 | <input type="checkbox"/> 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している | 利用者一人ひとりの状況に合わせて、外出をしている | |

(4) 安心と安全を支える支援

| | | | | | |
|--|----|----|---|--|--|
| | 26 | 66 | <input type="checkbox"/> 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員は鍵掛けの弊害は理解しているが、現状ではやむを得ないとして、その時期を待っている | |
| | 27 | 71 | <input type="checkbox"/> 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練について、職員の指導は行われている。地域への働きかけは今後の交流に期待したい | <input type="checkbox"/> 消防署との連携で、職員がする利用者への避難訓練の指導方法を進めて欲しい |

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

| | | | | | |
|--|----|----|---|--|--|
| | 28 | 77 | <input type="checkbox"/> 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分、食料摂取量については体重の変化や、医師の指導もいただいて、調節の工夫をしている | |
|--|----|----|---|--|--|

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

| | | | | | |
|--|----|----|---|--|--|
| | 29 | 81 | <input type="checkbox"/> 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームは新築された施設でもあり明るく快適な生活環境となっている。壁面には利用者との協力の季節感の掲示も適宜、実施している | |
| | 30 | 83 | <input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 個室には各自の好みに合わせた家具類が配置され、仏壇も祀られている | |